

令和元年東日本台風対応検証報告書に基づく対応結果の概要

令和3年3月 太田市

令和元年東日本台風対応検証報告書（令和2年2月公表）

台風対応の経験や教訓を
今後の防災対策の充実強化に繋げます。

検証会議を設置し、重点課題7項目に関して今後の対応を検討しました。

【ポイント1：重点課題7項目】

- 本部体制・配備
- 避難所の設定
- 避難情報等の伝達
- 避難所開設・運営、避難者への情報伝達
- 被害状況の収集・伝達
- 被災支援
- 内水対策

今後の対応を検討

基本的な考え方

検証結果を踏まえた今後の防災対策

- 市職員の災害対応力の向上
- 自助意識・共助意識の醸成
- 内水氾濫及び河川氾濫に対する備えを強化

令和元年東日本台風対応検証報告書【対応結果編】（令和3年3月公表）

いのちと暮らしを守る
災害対応力の強靱化

重点課題7項目に関して具体的な取り組みを推進しました。

【ポイント2：主な対応結果①.②】

太田市地域防災計画を改訂

水害時に開設する避難所を指定

避難所の開設・運営職員を事前に指定

災害情報共有システムを構築

避難所開設・混雑状況を情報発信

内水・河川氾濫に対する備えを強化

新型コロナウイルス感染症を踏まえた防災対策

上記に追加して

- 新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営ガイドラインを策定
- 各避難所にマスク・消毒液・体温計などの感染症対策物品を配備
- 新型コロナウイルス感染症の対応における知見や教訓を踏まえて引き続き検討 など



換気 咳エチケット 手洗い

重点課題7項目

1

対応済✓

本部体制・配備

- 災害対策本部の参集・配備体制について、再検討が必要である。
- 地域防災計画に定める班体制を有効に機能させる必要がある。
- 災害対策本部において、現地確認を行う体制（必要な設備を含む）が必要である。

2

対応済✓

避難所の設定

- 洪水浸水想定区域内の避難所の取扱いについて、検討する必要がある。
- 災害の状況に応じて、避難所の開設順位、範囲等について、あらかじめ想定しておく必要がある。

3

対応済✓

避難情報等の伝達

- 避難所の開設状況も含め、市民に分かりやすい情報発信が必要である。
- 情報発信に混乱が生じていたので、情報発信専門の人員（又は組織）が必要である。

4

対応済✓

避難所開設・運営、
避難者への情報伝達

- 学校避難所について、開設準備段階から市職員の対応が必要である。
- 基幹避難所以外の避難所においても、毛布、飲料水等の備蓄が必要である。
- 避難所において、避難者への情報伝達の仕組みが必要である。
- 要支援者に配慮した避難所運営を検討する必要がある。

5

対応済✓

被害情報の収集

- 災害対策本部、災害対策課、消防本部、防災関係機関等との情報共有が図れるよう、訓練を実施する必要がある。
- 災害対策課、関係機関等からの情報を集約、分析する体制が必要である。
- 現場に出動した部署による的確な状況把握と報告体制の確立が必要である。
- 情報共有のためのシステム導入を検討する必要がある。

6

対応済✓

被災支援

- 被害状況の確認及び被災支援の初動が遅れてしまった。
- 被災支援を行うためには、災害対策本部を再度設置する必要があった。
- 災害に応じた支援策を事前に整備しておき、速やかに的確な情報を提供する必要がある。

7

対応済✓

内水・外水対策

- 内水・外水対策を協議する庁内組織を立ち上げる必要がある。
- 内水氾濫に対する減災対策を行う必要がある。
- 河川管理者に対し、早急な外水対策を要望する必要がある。

検証結果を踏まえた今後の防災対策

- 市職員の災害対応力の強化
- 自助意識・共助意識の醸成
- 内水氾濫及び河川氾濫に対する備えの強化

課題に対する主な対応結果 ①

課題・問題点に対する個別の対応結果は、
検証報告書【対応結果編】をご覧ください。

I

太田市地域防災計画を改訂

市民・地域・行政が一体となった災害対応

令和元年東日本台風で抽出された課題への対応、取り組みはもちろんのこと、近年各地で発生した災害により抽出された課題や教訓、さらに、国や県の動向を踏まえた、より実効性の高い計画としました。

避難情報の発令対象地域、洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設についても見直しています。

あわせて

II

災害対応基本マニュアルを改訂

①職員配備体制の見直し

監視体制・災害警戒本部・災害対策本部

災害時における対応体制の強化や参集する職員の安全を確保するため、職員の配備体制および基準を見直しました。

配備体制や連絡体制など、各種対応すべき事項を見直しています。

あわせて

②職員の活動体制の明確化

担当部をひと目でわかるよう整理

地域防災計画の各項目別に担当部を整理し、災害対応における職員の活動体制を明確にしました。

マトリクス表を使い、災害時において各部局が何をすべきかを改めて整理しています。

あわせて

III

避難所対応の強化

- ①災害規模に応じた避難所の段階的な開設 (第1避難所・第2避難所・第3避難所)
- ②避難所担当職員の配置
- ③備蓄物資の分散配備

水害時に開設する避難所を指定し、災害規模に応じて段階的に開設することとしました。

避難所運営体制の強化を図るため、避難所担当職員を配置しました。

備蓄物資を円滑に提供するため、備蓄倉庫だけでなく、避難所にも備蓄物資を配備しました。

避難所運営に関わる事項を見直しています。

あわせて

IV

住民の防災活動の推進

住民主体の取組みを支援・強化

「自らの命は自らが守る」意識の徹底や、地域の災害リスクと、とるべき避難行動について、住民の理解を促進するため、住民主体の取組を支援・強化していくことに努めます。

周知のため、太田市地域防災計画概要版を作成しています。

あわせて

課題に対する主な対応結果 ②

1

各種計画・マニュアルを改訂

迅速・適切な災害対応

- 太田市水防計画を改訂
- 避難勧告等の判断・伝達マニュアルを改訂
- 住家人的等被害調査マニュアルを改訂
- 避難行動要支援者対応マニュアルを改訂

2

災害情報共有システムを構築

関係部局における情報共有・対策強化

- 被害状況などの各種情報を入力し、グーグルマップ上で一元管理
- スマートフォンを介し現場映像の伝送・共有
- 避難所の避難者数などの情報を管理・共有

3

災害対応訓練等を実施

職員の災害対応力の強化

- 災害対策本部設置・運営訓練を実施
- 避難所開設・運営訓練を実施
(学校避難所・行政センター)
- 大型土のう設置訓練を実施(八瀬川)【県】
- 排水ポンプ車による排水訓練の実施【県】

4

避難所開設・混雑状況を情報発信

スマートフォン、パソコン等で確認

- 6段階で混雑状況を表示
- 近い順に開設している避難所を表示
- 避難所までの道順を表示
- 混雑状況がリアルタイムで確認できることで避難の分散を図る。

5

内水・河川氾濫に対する備えを強化

内水氾濫・河川氾濫の低減

- 樋門、樋管の管理体制を強化し、操作訓練を実施
- 八瀬川沢野地区に耐候性大型土のうを設置【県】
- 石田川の擁壁嵩上げ工事を実施【県】
- 緊急時に対応するため、排水ポンプ車を2台配備【県】
- 群馬県内水対策支援調整会議において、県と連携し、内水対策を推進

6

太田市避難所マップを作成

地域の災害リスクを把握し、適切な避難行動がとれるよう周知

- 水害時に開設する避難所を周知
- 1枚の地図に浸水想定区域の情報を掲載
- 避難時に知っておきたいポイントを掲載
- 防災に関する知識と意識の浸透を図る。

新型コロナウイルス感染症の対策

避難所における感染症対策

感染拡大を可能な限り抑制するため、感染対策を強化

- 避難所における新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の平時からの検討、実施
- マスク、消毒液、体温計、間仕切り、段ボールベット等を各避難所に配備
- 避難所の開設状況・混雑情報を情報発信し、避難の分散を図る。
- 新型コロナウイルス感染症の対応における知見や教訓を踏まえて、引き続き検討していく。